

投資家の情報収集 ウェブサイト3割超

日本財託グループ

日本財託グループ（新宿区西新宿、重吉勉社長）は3月5日、不動産投資を行っているオーナー241人を対象に投資や資産運用の情報収集に関する意識調査を実施した。それによると、情報収集で最も利用するのがウェブサイト（32・2％）で、ニュースサイトや収益物件ポータルサイト、不動産会社のサイトを合わせて3割以上だった。不動産会社の営業マンや投資フェアによる対面（28％）や書籍や雑誌・新聞などの従来メディア（25・4％）などと続いた。